職種：エステティックサービス　　職務：トリートメント

【概要】

　店舗・サロンでの接客応対を通じて、お客様のニーズを把握し、お客様の体質や肌状態に即して、スキンケア、ボディケア、美容脱毛（一時的な除毛・減毛など、医行為に該当しない範囲の施術）などのトリートメントを行う仕事。

【仕事の内容】

　トリートメントの仕事は、お客様と十分にコミュニケーションをとりながら、プランに沿ってお客様に満足していただけるようなトリートメントを実行することである。

　トリートメントにおいては、エステティックに関する高い専門知識と技術が求められるだけでなく、お客様の真のニーズを把握することが重要になる。このため、カウンセラーと積極的に連携を図り、事前に把握した情報をお客様へのトリートメントに的確に活かすとともに、お客様の体質や肌状態などを把握して最適なプランがあれば積極的に提案し、次回以降のトリートメント内容を企画することも求められる。

　なお、トリートメントはスキンケア、ボディケア、美容脱毛（一時的な除毛・減毛など、医行為に該当しない範囲の施術）などに区分されるが、一人のトリートメント担当者が複数のトリートメントを担当するケースもあれば、スキンケア専門、ボディ専門、美容脱毛専門というように担当者が分かれるケースもあり、店舗・サロンによりメニューも異なる。いずれのケースであっても、経験を積むにつれて、様々なメニューに対応し高いお客様満足を得ることがトリートメント担当者には求められるようになる。

【求められる経験・能力】

1. エステティックに対する専門知識と技術に加えて、正しく肌、体質を見極めて、適切にトリートメントを遂行する能力（時間管理・品質管理・コスト管理・リスク管理・機器点検、環境管理などを含む）が求められる。このため、各種・専修学校などを卒業し、一定の知識や技術を有する人が就くケースが比較的多い。一方で、大学などの卒業者や、全く別の業界から転職し、一定期間の研修を受けて必要なスキルを身に付けたのち、トリートメント担当者として働くケースも少なくない。
2. お客様に真のお客様満足を提供するためには、カウンセラーやお客様と円滑に意思疎通を行いながらトリートメントを進めることが必要である。このため、単に技術に長けているというだけでは不十分であり、コミュニケーション力、交渉力、カウンセリング力など対人関係能力も重要になる。
3. トリートメント担当者には、広く美容を含めたエステティックに関する最新技術や最新情報を常に収集し、お客様に適合したプログラムを提案する能力も要求される。

【関連する資格・検定等】

・職能団体、業界団体、教育機関団体等による各種認定資格等

【厚生労働省編職業分類（小分類）との対応】

　　３２３　小売店販売員　３８３　美容サービス職　３４９　その他の営業の職業　など